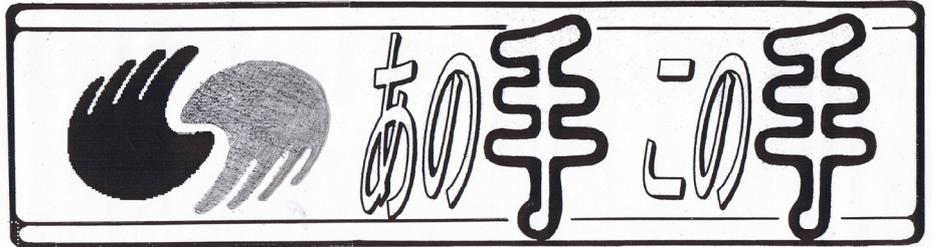




春の光がまぶしいよ。
—冬眠から目覚めたリス—

あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決！



大和市民活動センター【拠点やまと】 第 38 号 2010 年 3 月 25 日発行



絵:「私と未来」森下貴弘(柏木学園高等学校 2 年)

昨年 11/21(土)~11/23(月・祝)に開催されたドラマティック
カンパニーYamato50主催の「わが街やまと~ドラマティック
な絵画展~」で選ばれた作品の 3 回目。

*この表紙の絵は大和市民活動センターのホームページでは
カラーでご覧になれます。
<http://www.kyodounokyoten.com/>

僕自身はこの街に住んで
いませんが、日ごろの登下
校やボランティアで垣間見
るよいところを思い出しつ
つ描きました。自由に丘を
駆け巡る爽快さを実感した
いと願って描きました。

大和市民活動センターは…

「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」
に基づいて運営しています。このたび、よりよい活動

が広がるよう、市民活動センターを利用している団体
に活動内容を改めて聞きとりすることになりましたの
で、ご協力をお願いします。[拠点やまと]

<送付の際、同封されているご案内>

・4/24(土)実施第 ③⑩ 回連続共育セミナー「活かそう！携帯電話で広がり輪(わ)つながりの手」のお知らせ

3/23(火)
開催

気楽に楽しく 第(29)回大和市民活動センター「共育セミナー」

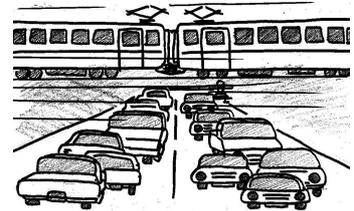
“大和市街づくり賞” から “まちづくり” を考えたい

大和市では、街の魅力づくりに貢献している「街づくり賞」を選考しています。今年度は屋外広告物から6事例が選ばれました。その1つが「笹倉鉄平版画ミュージアム」です。デザイン性に優れ、周辺の街並みと調和のとれた屋外広告物として表彰されました。住宅地にある小さなサインで控えめながらも一度見たら忘れられないデザインの良さがあります。建物や植栽とのバランスもよく全体としてよく考えられています。是非ご覧ください。



ゲストは
桜ヶ丘笹倉鉄平版画ミュージアム
館長小川政男さん

やまとの街づくりに関心のある小川さんは「常にこれでいいのかわ？」
「大切なのは行動です。」と話された。とてもエネルギー的な人が笹倉鉄平の画廊で静かに座っているのを想像しながら興味深く聴いていました。昔から大和市の“市民メンバー”に参加され(例えば「大和市街づくり学校」「大和市自治基本条例をつくる会」「大和市民参加推進条例」「大和市景観形成に関する研究会」など)大いに市民の声を活動実践されてきました。



あの地域の渋滞にイライラしながらただ車を運転しているスケールの小さな自分に気がきました。「考え、行動する住民」「毎日が健康的に、安心して住める街をつくる」を教わりました。「大和市街づくり賞」は単に調和あるデザイン化された“外見の”屋外広告物ではなく、住民の活動を反映した“実践賞”だと思いました。(N.M.)

次回 第(30)回連続共育セミナー「お知らせ」

活かそう！
携帯電話でひろがりの輪つながりの手

～事業者が参加する「新しい公共」～

お馴染み携帯電話。とても便利である反面、知らずに使っていると
思わぬことに巻き込まれてしまう可能性があります。
ドコモショップ大和店チームがやさしく分かりやすいお話をしてくれます。

とき：4月24日(土) 16:30~18:30

場所：大和市民活動センター

参加希望の方は4月22日(木)までに大和市民活動センターにご連絡ください。

*「共育セミナー」では協働事業、市民活動で活躍の方、
街の人気者、大和市で活躍の人、話題の人など大募集！



村上絵里さんがイラストで“お仲間紹介”

「センター」のある日ある時

2月23日(火)晴れ

FM やまとのラジオネーム「みどりさん」が鉢植えの花を持って、ボランティア活動の打合せのために来館。「市民活動センターで借りた手塚カズさんの本“明日へつづく道”を小学校2年生に読み聞かせたところ、騒がしかった教室が、いつの間にか静かになっていました」とのことでした。

市民活動センターからのお知らせ

会議室利用料金、プロジェクター貸出し料金を4月より以下のように改定します。

プロジェクター館内利用…300円

プロジェクター館外利用…700円 (大和市内での利用に限る)

第5回 国際交流フェスティバル エネルギーな人々の笑顔で春の嵐を吹き飛ばしました ～やまごに集めよう！世界の笑顔～

国際交流フェスティバルは…

3 21(日)

日本人と外国人が、ともに同じ地域で生活していくために、お互いの文化に触れ、交流する機会を設け、日本人と外国人双方の国際理解の促進を図るためのフェスティバルです。市民活動センターはおりがみ解説付きパネルを用意し、実演して外国籍の人たちと交流しました。“おりがみは世界の共通語”と実感した一日でした。

あなたの国はどこですか？と質問しました。

- What is your country?(英語)
- 你的国家在哪里?(中国語)
- 당신의 나라는 어디입니까?(韓国)
- Où est-ce que votre pays est?(フランス語)
- Dove è il Suo paese?(イタリア語)
- Wo ist Ihr Land?(ドイツ語)
- ¿Dónde su país está?(スペイン語)
- Onde seu país está?(ポルトガル語)

どこの国の人が多かったでしょう。

市民活動センターのブースでは、パネルに出身国の名前と国旗、「こんにちは」の言葉を記入してもらいました。

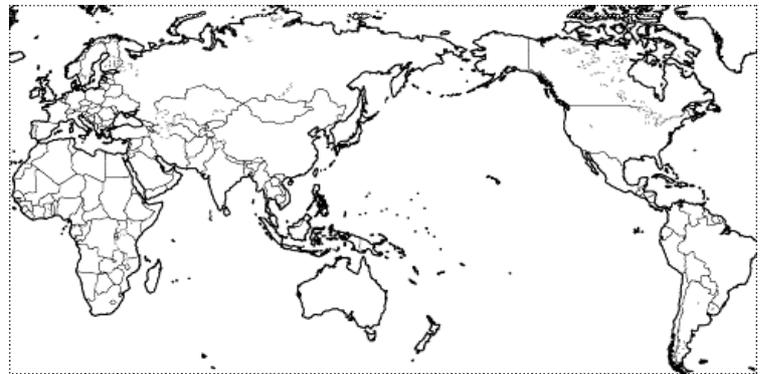
国	人数	挨拶の言葉
ペルー	78	ブエノス タルデス
パラグアイ	16	ブエノス タルデス
アルゼンチン	13	ブエノス タルデス
フィリピン	12	クムスタ
ブラジル	9	ボンジア
ボリビア	7	ブエノス タルデス
アメリカ	6	ハロー
中国	6	ニーハオ
ベトナム	5	シン、チャオ
韓国	5	アンニョハセヨ
コロンビア	4	ブエノス タルデス
エルサルバドル	4	ブエノス タルデス
エクアドル	3	ブエノス タルデス
イラン	3	サラム
キューバ	2	
ドイツ	2	ゲーデン ターク
タイ	2	ソワティア
カンボジア	2	チョムリアプス
グルジア	1	ガマレジョバ
スペイン	1	ブエノス タルデス
スイス	1	
フランス	1	ボン ジュール
スウェーデン	1	グッディ
ドミニカ	1	
インドネシア	1	アパカパル
ジャマイカ	1	
メキシコ	1	ブエノス タルデス
日本	30	こんにちは

以上 218 人がシールを貼ってくれました。

* パネルは市民活動センターに掲示しています。
国旗と「こんにちは」の言葉がわかりますよ。

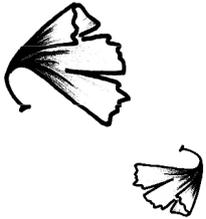


70カ国 6,500人が住んでいる大和市。
国際交流フェスティバルに集った人は 3,000人。
左の国がどこにあるのか、地図をたどってみましょう。



言葉よりも心だよ(参加したボランティアの感想)

- ★思った以上に外国人が多くて、シールを貼ってもらうのに、言葉がわからなくても、気持ちが通じる気がした。(高校生K)
- ★いろいろな人とふれあえて、勉強になりました。まじに、手伝いができてよかった。(高校生H)
- ★午前中、人が少なかったけど徐々に人が増えて、終る頃には人が多くて驚いた。(高校生M)
- ★自分の国の国旗を描ける人が多くて驚いた。愛国心があると思った。(T)
- ★シールを貼りに来て、久しぶりに会った人たちの会話が弾んでいたようで、微笑ましかった。(S)
- ★おりがみに挑戦する人がいなかったが、子どもたちにピョンピョン蛙や兜が人気だったので、完成品を用意しておけばよかった。(M)
- ★違う国の人たちが楽しく交流している姿が多く見られ、言葉が通じるって、いいなと思った。(N)



[拠点やまと]が制作発行する

大和市民活動センターの広報紙・月刊「あの手 この手」。

3月25日付け第38号をお届けします。

本号は今年度最後の月刊広報紙「あの手 この手」になります。この1年の大和市民活動センターの動きを総括した「ふりかえり号」4ページを加えて発行します。

「ふりかえり号」の p.2,3、見開きページの四隅に「大イチョウのひとりごと」という小スペースの記事があり、そこに大イチョウのイラストが載っています。

この大イチョウというのはプレハブ建築の大和市民活動センターのすぐ目の前にどっしりと立つイチョウの大木のことです。樹齢80年（前後らしい）。大和駅を降りて「センター」よりもこの大イチョウが先に目に入る。シフトを組んで勤務する[拠点やまと]メンバーはもちろん、「センター」を活用している多くの市民活動団体メンバー、市民、近所に住む方、大人も子どもも、ほんの数秒小田急線の電車の窓からも見る通勤通学する人たちもこの大イチョウを見る。

ところで、イチョウといえば思い出すのが今月の10日（水）未明、雪交じりの強風で倒壊した鎌倉の鶴岡八幡宮の大イチョウのことだ。ああ、あの大イチョウ」と一度間近で見た人はすぐさまその姿を思い出したことだろう。

今から50年以上も前、私が池袋に住んでいたころ小学校6年の春の遠足という、江ノ島、鎌倉行きだった。リュックサックに入れた、その当時は遠足のときにしか持っていくことができなかったバナナがつぶれてはいないかと気になりながら、鶴岡八幡宮の階段の左手にあった樹齢1000年と言われる大イチョウに出会った。「りわーっ、大きい」と思った。「この大イチョウの陰に身を隠した公暁（くぎょう）が鎌倉3代将軍の源実朝を暗殺したのです」というガイドさんの説明はまるで見てきたようだった。

「大銀杏再生へ」と22日（月）付の神奈川新聞に大きく記事が載っていた。大銀杏が多くの人の心に根を張っていると感じ、これは何とかしないといけないと思った」。18日、再生を祈る祭典後、鶴岡八幡宮の吉田茂穂宮司は胸中を明かしたと記事にあった。

そうか、大イチョウが「人の心に根を張っている」と言う。

樹齢1000年にはとても及ばないけれど、樹齢80年ばかりの大和市民活動センター前の大イチョウもきっと見る人の心にさまざまに「根を張っている」に違いないと思った。

2010/03/25 [拠点やまと]広報係・小杉皓男[記]

春



夏



秋



冬



・上の大イチョウのイラスト（[拠点やまと]メンバー/望月則男[絵]）は「ふりかえり号」に載っている大イチョウ4点を転載。